

## 第8回「戦争と医の倫理」の検証を進める会・世話人会会議報告

- ◇日時 2010年12月19日(日)11時～17時(以後、忘年懇親会)  
◇場所 全国保険医団体連合会 6階会議室  
◇参加者 石川徹、塩安佳樹、西山勝夫各代表世話人、赤羽根巖、小俣和一郎、肥田泰、光石忠敬、山口研一郎、吉中丈志各常任世話人、飯塚讓、刈田啓史郎、川嶋みどり、小松美彦、末永恵子、田中智彦各世話人  
(事務局)相場康文、木村徳秀、杉浦秀明、原文夫、室井正、小林耕治各氏

◇議長 西山代表世話人

### ◇報告・協議事項

#### 1. 前回会議報告の確認について

第7回世話人会(10.11.28)会議報告は、提案どおり了承。

#### 2. 前回世話人会以降の主な活動報告について

\*学術展示出展申込の却下に対する見解の送付について

前回世話会で確認した表題の見解については、第28回日本医学会総会への送付と報道機関各社への公表を行い、その後、医学会総会の各学術展示委員宛にも送付したことを確認した。

#### 3. パネル展示会場について

\*当初予定した明治大学の駿河台キャンパス内2箇所の会場については、入学時期とも重なる関係で「リバティータワー」での利用は困難なことから、「アカデミーコモン1階の展示コーナー」1箇所を借用することとした。さらに、追加の展示会場として、検討の結果、明治大学と東京大学の間地点にあたる「平和と労働センター2階ホール」を借用することとした。

\*展示期間は、下記の通り。

・「明治大学アカデミーコモン1階の展示コーナー」は、4月2日(土)～10日(日)  
(代表的パネル資料の展示とビデオ放映を予定)

・「平和と労働センター2階ホール」は、4月4日(月)～10日(日)  
(全パネル資料の展示とビデオ放映、書籍紹介を予定)

\*パネル展示の開催者について

展示の開催者は、当会と明治大学平和教育登戸研究所資料館の共催とすることを了承。

#### 4. 当会独自企画案の具体化について

##### (1) A、B、C各班別の検討課題と具体化について

###### ①A班(歴史検証)

責任者の吉中常任世話人、起案担当者などから下記の報告があり、討論の上了承した。

\*「医学教育に関するアンケート」の集約結果と今後の対応について

・国内の各大学医学部・医科大学に調査中の回答状況の報告があり、さらに回答いただけるよう葉書や電話で依頼する。

・ドイツへの調査については、翻訳等の準備状況が報告され、資料が整い次第、ドイツの各大学医学部・医科大学に郵送とメールで実施する。

・中国への調査依頼については、金成民・731部隊罪証陳列館館長を通じて、実施する。

\*「医学会アンケート」の実施案について

医の倫理向上への取り組みに関する調査票の検討を行い、実施する。

\*歴史検証関係のパネル展示(案)について

A班としてパネル展示(案)の検討を行ったこと。出された意見もふまえてさらに整理し、次回世話人会で全体の概要を提示できるよう準備する。

## ②B班 (国際シンポ)

責任者の小俣常任世話人から、下記の要点が報告され了承された。

\*国際シンポジウムの記録については、

- (1) 岩波ブックレットとしての出版企画について岩波書店編集者(清水野亜氏)と面談した結果、①出版に前向きに対応したい、②会の宣伝冊子としては出版できない、③一般読者対象の書籍出版となるので、シンポジウムの記録に加え、背景などの全体的説明や解説が必要となる。4月のシンポジウムに編集者も出席し、内容を直接確認することとなった。
- (2) 映像での記録は、さらに業者とも相談を進めたいうえで提案する。
- (3) パネル集は、ドイツ語版についても検討する。その場合の翻訳などの候補者として、ヴォルフガング シュヴェントカー教授と懇談した結果が西山代表世話人から報告があり、引き続き接触していくこととした。

なお、記録については、著作権との関連で、著者・编者、印税、原稿料などの利害を整理しておく必要性も指摘された。

\*通訳に関する契約などについて

通訳については、随時通訳で行うこととし、(株)サイマリンガル)との契約を確認した。また、報告者等の文書翻訳については、料金が高額となることから、世話人の知人などの協力も得て対応することとした。

\*国際シンポで日本側からの報告内容について、刈田啓史郎世話人からの報告の素案が文書提案された。討論時間がないため、個別に刈田世話人に意見を寄せていただき、次回世話人会で検討することとした。

\*ドイツ大使館への「日独交流 150 周年・ロゴマーク」申請書(案)が提示されたが、討論時間がないため申請することを了承し、内容は国際シンポ担当者に一任することとした。

## ③C班 (医療倫理)

責任者の山口常任世話人から、下記の要点が報告された。

\*別冊でまとめたC班(医療倫理)のパネル展示項目(原案)をもとに、①医療倫理・生命倫理、②現代の日常診療、③先端医学・生命倫理、④改めて731部隊とは何か、の4点の柱で作成中であり、現在、空白のパネルも作業中であること。

\*尙常任世話人からの世話人会宛文書で、C班のパネル原案に対し、「当会発足の趣旨にそって、『日本医学会・界』の戦争荷担と人権無視の医学犯罪の歴史検証に焦点を当てるべき」等の意見が寄せられた。この指摘に対しては、「検証を進める趣旨とこれまでの経過からも尙常任世話人の意見は十分組み入れることはできると思う」と説明された。

※以上の報告を受けての討論の要点

\*小俣常任世話人から、前回世話人会での医療倫理をめぐる討論では、①医療倫理が基礎にあつての歴史検証か、②歴史検証を基礎における医療倫理か、二つの意見の相違があるのではないか。「医療倫理」の定義は各診療科でも違いがあり、一定の整理が必要ではないか、との提起も受けて討論し、次回世話人会で、パネル(案)全体の整理をする中で検討することとした。討論で出された主な意見は下記の通り。

- ①A班(歴史検証)とC班(医療倫理)のつながりを工夫する必要があるのではないか。例えば、歴史検証が過去のものではなく、現在にも続くものである旨がわかるような中間のパネルなど。
- ②上記のAとCの関連性が難しい場合は、二つを別個のものとして展示する方法もありえるのではないか。
- ③医療倫理のあり方は、731部隊等を検証する流れの中で展開することが本来の趣旨だと思う。その目的で展示できるよう努力したい。
- ③「はじめに」のところで、A(歴史検証)とC(医療倫理)を扱う意義や、パネルで何を訴えたいのかを明らかにするなどして、来場者に伝わるよう検討すべきではないか。
- ④過去の歴史検証が、現在の医療でも問われていることを打ち出す意義は大きいと思う。前回はそこまでできなかったが、今回は何らかの形で示すことができないか。

- ⑤A班とC班の「はじめに」と「おわりに」を用意してそれをつなぎ、日本では「ニュルンベルグ裁判」のようなものが行われなかったことにも触れ、まとめるなど工夫を。
- ⑥「宣言」案の起案でも、パネル展示の意義として触れる必要があるのではないかと。

## (2) 当面するパネル展示などの作業推進予定、及び財政状況の概算報告

①2011年1月～4月までの世話人会の開催日時について、下記のように予定した。

・代表世話人・事務局長・各班責任者会議

1月22日(土) 午後6時～9時 保団連会議室

・第9回世話人会 1月23日(日) 午前11時～午後5時 東京保険医協会

・第10回世話人会 2月13日(日) 午前11時～午後5時 保団連会議室

・代表世話人・事務局長・各班責任者会議

2月26日(土) 午後6時～9時 保団連会議室

・第11回世話人会 2月27日(日) 午前11時～午後5時 保団連会議室

・第12回世話人会 3月21日(月・祝日) 午前11時～午後5時 保団連会議室

・第13回世話人会 4月24日(日) 午前11時～午後5時 東京民医連会議室

(注)2月は、パネル展示、国際シンポ等がほぼ最終確認できるよう2回予定した。

各世話人会とも、午後5時まで全体会議を1時間延長した。

各班で個別の会議が必要なときは、各班責任者の判断で召集する。

②財政状況の概要が事務局より報告された(内容は省略)。

## 5. 上記以外の活動課題について

①平岡諦先生との面談について、吉中常任世話人、原事務局員より報告された。

②故・湯浅謙先生を偲ぶ会(12/18)への当会の弔辞が報告された。

## 6. その他

参考資料(下記を配布)

- ・金成民・731部隊罪証陳列館館長の京都での講演の報道(毎日新聞2010.11.28)
- ・731部隊関連の中国訪日団と東大、京大各医学部長との懇談報告

以上